

平成30年3月9日

神奈川県知事

黒岩 祐治 殿

NPO法人 葉山ヨットクラブ

理事長 日原 行隆



葉山港の整備に対する要望

及び

東京2020 オリンピック・セーリング競技江の島開催に伴う葉山港の整備と オリンピック後を見すえての対応について

日頃よりNPO法人 葉山ヨットクラブ の活動に御理解とご協力をいただき、改めてお礼を申し上げます。

さて、昨年(平成28年)の10/22(日)~23(月)未明、関東地方を通過した台風21号は、神奈川県にも多くの災害をもたらし、相模湾、東京湾で発生した台風による高潮により、特に県東部の沿岸では、これまでに無い、施設の被災がありました。

私たちが年間を通じて活動の拠点としている葉山港においても高潮が原因と考えられる施設の被害がありました。

幸いにも今回は、施設内に係留、又は、陸上保管している船に対する大きな被害は有りませんでした。また、これまで、葉山ヨットクラブとして、懸念とともに対策を要望してきたポンツーンに係留杭の長さ不足の問題が、今回の台風で現実のものとなりました。

また、スロープのコンクリート版の移動については、これまでも度々同様の被害が有り、台風後にスロープの利用が制限されるだけでなく、船台の破損も生じ、利用者の安全性については、大きな問題となっています。

今後の葉山港の整備につきまして、これまでの要望も含め、別紙の要望書を提出させて戴

きます。

長い年月、年間を通じてこの港を利用している多くの葉山ヨットクラブのメンバーを代表し、要望書の内容につきまして抜本的な対策を切にお願い申し上げます。

合わせて、東京2020 オリンピック・セーリング競技江の島開催に伴い、神奈川県が掲げる「江の島（湘南港）と葉山港を中心としてセーリング文化を広げる」という方針につきまして、葉山ヨットクラブとしても積極的に協力をさせていただきたいと考えております。

しかしながら、それに伴う葉山港の整備につきましては、関係部局のご担当より説明会等を通じて情報の提供を受けておりますが、情報提供を戴く時期と内容については、後戻りできないものが多く、現状の問題点が解決できないばかりか、利便性が悪くなるのではという懸念を、利用者に抱かせるような内容もあります

葉山港をより良い港にするため、港や周辺海域の状況を把握している港湾施設利用者からの意見も参考にして頂き、オリンピック後も見すえながら、具体的な整備や維持管理事業に反映して頂きたいと考えております。

そのため、意見交換や神奈川県の葉山港の位置付け、整備や維持の方向性等の説明会や意見交換会等、関係する県の部局と葉山ヨットクラブで、定期的を実施して戴けますようお願い申し上げます。

以上

添付資料

① 「葉山港の整備に対する要望書」 NPO 法人 葉山ヨットクラブ

平成30年3月9日

② 「台風21号接近に伴う葉山港の被害状況」(2017 10/22(日)~23(月)未明)

20171109 NPO 法人 葉山ヨットクラブ 泊地委員長 真野泰人